

お不動さま



昨年8月18日 夏の不動様

今年は小雪？

今冬は11月に初雪を見て大雪になるかと予想、12月、1月と案外積もらず、竹之高地で1月中旬に積雪2.3mを観測したが、1/28現在は1.8mになりました。それでも屋根の雪下ろし(雪ほり)は2~3回行っている。この時期山に来るのを雪により心配するが、市街地からの道路は除雪状態が近年改善され、社務所前の駐車場も除雪されていて、村の奥まで車で入れる。いつでも竹之高地に来て、不動様にお参りができるようになりました。

不動様では毎月28日午前中に御祓いを行っています。事前に社務所・佐藤さんにご相談してください。



今年1月28日の不動様
雪は鳥居の上まで積もることもある

竹之高地不動社の由来

竹之高地不動社の開祖は弘法大師とされている。

弘仁年間、大師は本山建立の地を探して全国を行脚した。

その時この地にも足跡を残している。

長岡の東山山系の中で、柿から奥の山は「三谷たらず」と呼ばれ古来、霊山とされていた。大師は難破峠(南蛮峠)を経て、多岐之河内(竹之高地)と呼ばれるこの谷を下り、途中この滝に行く手を阻まれた。眼下数十丈を落ちる荘厳な滝の姿に心を打たれた大師は、不動明の石像を刻み、滝のほとりに安置した。

それから約七百年後、無人のこの地に初めて集落を作った原美濃守(落武者)は、集落の鎮守様としてこの不動明王を祀り祠を建てた。美濃守の守護神も不動明王であった。その後、社殿は数回建て替えられ、現在の社殿は中越大震災の後、平成十八年に建立されたものである。

本尊大日大聖不動明王はその限らない力をもって人々のあらゆる苦難を打ち払い、心身の病を癒し、真実を見究める眼力を授けると伝えられ、多くの崇敬者を集めている。

平成二十年八月 竹之高地不動社



今年1月28日の社務所と一本杉

佐藤 清一さん (不動様守役)

不動様社務所にいて、参拝者の対応をしている。

この時期は雪が降ると除雪をしていることが多い。

冬期間は毎週 水曜日と土曜・日曜の朝9時~夕方4時まで

夏季(4月~11月)は毎週火曜日のみ休み、時間は同じ

社務所 ☎0258-23-0054



竹之高地までの道路除雪

冬道で高龍神社を過ぎるとあちこちで雪崩が発生して行く手を阻んだが、地震以後改善された。下の写真は不動滝の脇（駐車場手前）左のがけより新雪なだれがあったがのり面を改修したので今は心配ない。右の写真は社務所前駐車場。車は夏場と同じく十分におけるスペースがある。右下の写真は高龍様の奥。のり面に積もった雪も適宜排雪している。（ちなみに友三郎さんが毎日村松から通勤）



不動様 百八灯

今年は2月22日(土)
夕方6時から



大震災後2006年に今の形式の百八灯にしてから今回が第9回目となる。写真は2007.02.27第2回の百八灯。

上が寄せ太鼓。右は富所から玉吉のほうを撮影。この年は雪が少なく、50cm程度？、右に郵便受けが見える。

下の写真は昨年。大雪であった。鳥居の上まで雪がかぶっているのが見える。今年も2月22日午後より準備し

夕方6時から 神事から行列となる。

除雪がよくなったので皆さまそろっておいでください。



2013/02/23 百八灯より 大雪で鳥居まで埋まった

2月の行事 竹之高地同友会より

□不動様 百八灯 2月22日(土) 18:00～

神事から行列、ろうそくを開祖の碑まで燈します

□不動様 春季大祭 2月28日(金) 午前中

□太田 雪あかり 3月1日(土) 夕方

濁沢・蓬平・竹之高地をろうそくの燈でつないで行く

□総会の開催 3月下旬

--- 竹之高地が皆で集える場所となりますように ---